

【法蔵館文庫】

# 日本の憑きもの

社会人類学的考察

社会人類学

よしだ ていご  
かがわ まさのぶ  
吉田禎吾 著 香川雅信 解説

▼文庫判・並製カバー！240頁・定価1320円

2026年8月刊行



キツネ憑きやイヌガミ憑きなどの「憑きもの信仰」が村落の連帯と社会統制に果たす機能を解明した名著の文庫化。

## 【目次】

序 章 「憑きもの」に憑かれて

憑きものの魅力／社会の深層心理への踏査

第一章 憑きものの正体と特色

心的分離としての憑依現象／外国の憑きもの／望ましい憑霊と望ましくない憑霊／家系と結びつく日本の憑きもの／人と動物霊／キツネの正体／イヌガミの正体／蠱道との類縁／オサキの正体／憑きもの性と／憑きもの落とし／憑きもの予防

第二章 憑きもの筋

結婚のタブー／ナマヅル／憑きもの筋の形成／江戸中期に発生か／隠岐の人狐の話／富をつくる憑きもの／筋と階層／筋の伝播（山陰・四国）／縁切り／筋の伝播（関東）／憑きものの内在性と外在性／家系・血筋をひく妖術／筋の集団化

第三章 憑きものの社会的意味

死霊が憑く／祖霊と親族／憑く憑かれるの関係／社会的潤滑油／憑きものと村落社会／家単位の憑きもの現象／イギリスの妖術との比較／憑く人の特徴（日本）／憑く人の特徴（外国）／憑かれる人の特徴／社会統制の機能／不幸を説明する機能／嫉み深い憑きもの／村落構造の維持機能／妖術の盛んな社会の特色／憑きものの社会的条件／憑きもの筋の持続

あとがき  
注  
解説……香川雅信

### ◆著者・解説者略歴

吉田禎吾（よしだ ていご）

一九二三年、東京に生まれる。一九四七年、東京大学文学部心理学科卒業。九州大学助教授、東京大学教授（一九八三年定年退職）、聖心女子大学教授、慶應義塾大学客員教授、桜美林大学教授を歴任。東京大学名誉教授。専攻、文化人類学。二〇一八年、逝去。

香川雅信（かがわ まさのぶ）

一九六九年、香川県生まれ。一九九九年、大阪大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学。二〇〇六年、博士（学術、総合研究大学院大学）。現在、兵庫県立歴史博物館学芸課長。

注文書		様冊	
(書店印)		ご担当	
法蔵館		定価1320円	
吉田禎吾 著 香川雅信 解説		日本の憑きもの	
社会人類学的考察		ISBN: 978-4-8318-2732-6 C1139	
お名前		お住所	
お電話		お名前	

ご注文はFAX:075-371-0458

法蔵館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入  
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458  
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp